

らびプラス

動脈硬化症、総合力で診る

血管内治療・バイパス手術 同時に 日経実力病院調査

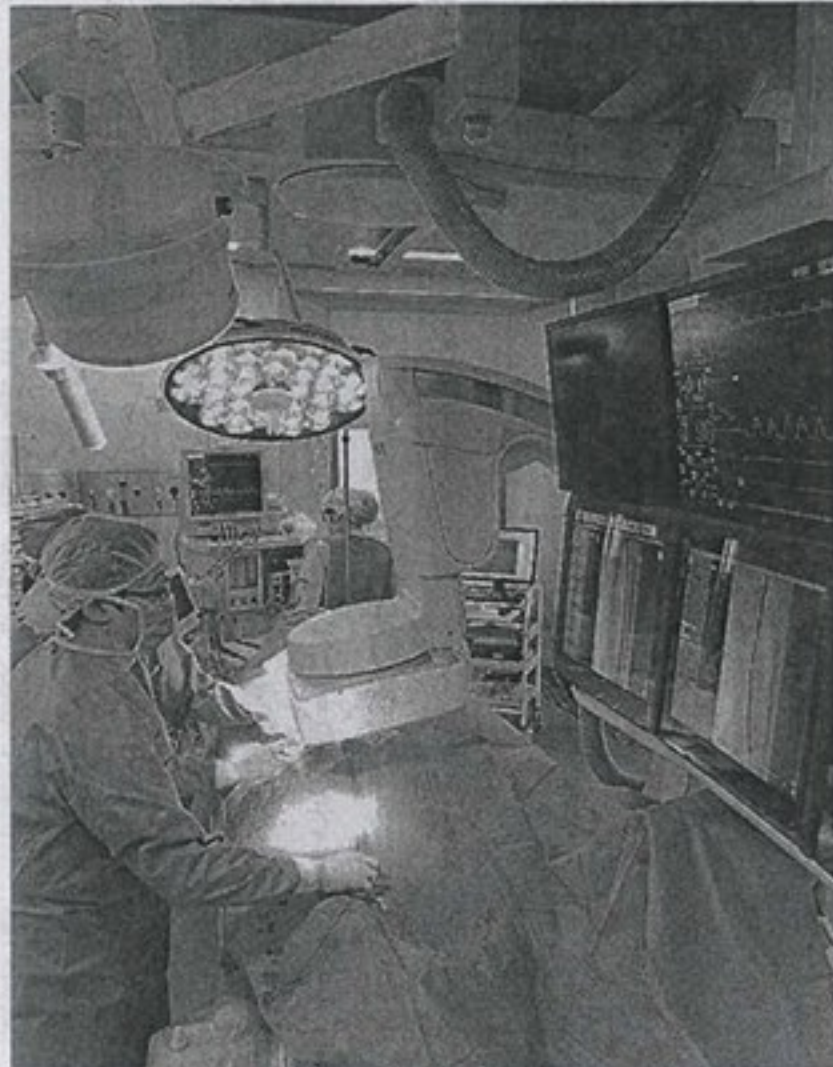
動脈硬化が進み足の血流が悪化して発症する閉塞性動脈硬化症の患者は、高齢化や生活習慣病の増加などで増えており、全国で300万人を上回るとされる。日本経済新聞社の「日経実力病院調査」では、先端技術を駆使するとともに、全身を診ながら血管内治療やバイパス手術などを実施する「総合力の高い実力病院」の姿が浮かび上がった。

手術室が進化

広い手術室の中央で、医師がモニター画面を見ながら患者の足の血管にカテーテルを入れていく。湘南鎌倉総合病院(神奈川県鎌倉市)のハイブリッド手術室。血管のエックス線造影装置と手術台を組み合わせ、従来は手術室とカテーテル検査室で別々に行っていたバイパス手術と血管内治療を

各科連携 全身に日配り

同時に実施できる。閉塞性動脈硬化症は、足の動脈が狭くなったり詰まったりして血行不良となり、足のしびれや休まなければ歩き続けられない間欠性跛行(はこう)など特徴的な症状が出る。軽症患者の治療は症状の改善が目的で、薬物治療と運動療法で経過をみる。それでも症状が改善しない場合、血行をよくする治療に移る。病変のある個所に血管の迂回路をつくるバイパス手術と、動脈内にカテーテルを入れ、狭くなった箇所を金属の筒(ステント)や風船(バルーン)で広げて血行を回復させる血管内治療



ハイブリッド手術室ではバイパス手術とカテーテル治療を同時に進める(神奈川県鎌倉市の湘南鎌倉総合病院)

が代表的。重症患者は足の組織が壊死(えし)して、最悪の場合切断する恐れもあるため、積極的にこうした治療をする。今回の調査で「手術あり」はいずれかの治療の実数だ。同病院では循環器科が数多くの血管内治療を実施する。「血管外科はバイパス手術と血管内治療の両方の治療をするため、ハイブリッド手術室が威力を発揮する」と荻野秀光部長。「従来開腹させるをえなかった骨盤内の腸骨動脈は血管内治療、ももの大腿動脈より下はバイパス手術を選択する」という。

地域の中で協力

今回の調査で「手術あり」が全国で2番目に多かった関西労災病院(兵庫県尼崎市)は、2007年に心臓血管センターを設け、循環器内科医を中心とする末梢血管治療チームが、血管内治療を実施。過去5年間で重症下肢虚血の患者550人を治療し、約92%の患者が脚を切断せずにすむ好成績を挙げた。血管が狭窄した病変の治療の成功率は95%を誇る。

「週一回、循環器内科、心臓血管外科、形成外科の医師や理学療法士ら20人前後が集まって症例を検討し治療法などを決めていく」と上松正明心臓血管センター長は語る。「血管が完全に塞がっていたり、病変の範囲が大きかったりする患者はバイパス手術が主体。合併症があったりして全身状態が悪いと、従来は切断してしまいうケースもあったが、現在ではリスクを慎重に検討して血管内治療を実施している」

調査の概要

取材班「前村駿、江口博文、山本優、今井孝秀、武田敬英、高畑公彦、村上穂紀郎、細川幸太郎、後藤健、藤井将太、塩崎健太郎、編集委員・木村彰

偏った食生活や運動不足から、血管の内側にコレステロールや中性脂肪がたまって血流が悪くなるのが動脈硬化の要因だ。閉塞性動脈硬化症の治療にあたっては、医師は、「患者の多くは、栄養指導や歩行を中心とした運動療法、血管拡張剤、抗血小板薬などの薬物治療によって症状が改善する」と口をそろえる。

まず生活習慣改善

この改善指導が極めて重要で、これが不十分だとすぐ再発し、脳梗塞や心筋梗塞で死亡することにもなりかねない。ある医師は「本来、血管内治療やバイパス手術が必要な患者は1割にも満たない。にもかかわらず、患者の体への負担が小さいからと、血管内治療を勧める病院が少なくない」と指摘する。

内科・外科の議論必要

1の森野禎浩教授は「カテーテルが進歩したこともあり、循環器内科医は患者の動脈に狭さくがある血管内治療を選択しがちで、心臓血管外科医はバイパス手術を選ぶ傾向にあるが、両者が患者に応じてよく議論して治療法を決める必要がある。そうすれば血管内治療とバイパス治療の件数がどちらかに極端に偏ることはないはずだ」と話している。

調査は①治療患者数(診療実績)②医療の質や患者サービス(運営体制)③医療従事者の配置や医療機器などの設備(施設体制)の3つの視点で、病院選びの際に参考となる情報をインターネット上の公開データから抽出して実施した。

▼診療実績 厚生労働省が2013年9月に公開した12年4月~13年3月の症例数(退院患者数)とした。病名や手術方式で医療費を定額とするDPC制度を導入・準備

▼運営体制 公益財団法人「日本医療機能評価機構」(東京)が病院の依頼で医療の質や安全管理、患者サービスなどを審査した結果を100点満点に換算した。結果を13年9月下旬までに公開している認定病院は約2千病院。

▼施設体制 医療従事者の配置、医療機器や専用治療室など、厚生省が定めた「診療報酬施設基準」を満たしたと報告した各病院が届け出た項目を比較した。

病院の種類	病院名	所在地	診療実績		運営体制	施設体制
			閉塞性動脈疾患のDPCデータ(例)手術あり	手術なし		
北海道・東北	法 時計台記念	北海道	186	18	75	
	大 旭川医大	北海道	173	15	74	○
	法 釧路孝仁会記念	北海道	119	17	69	○
	公 仙台社会保険	宮城	201	30	66	○
	法 仙台厚生	宮城	*167	164		○
	公 いわき市立総合警域共立	福島	187	17	69	○
関東	法 春日部中央総合	埼玉	146	53	73	○
	大 自治医大さいたま医療C	埼玉	117	65	75	○
	法 新東京	千葉	312	60	71	○
	法 千葉西総合	千葉	287	86	72	○
	大 東京女子医大	東京	164	27	78	○
	法 江戸川	東京	147	*28		○
	大 東邦大医療C大橋	東京	136	28		○
	大 東京医科歯科大	東京	122	21		○
	法 新葛飾	東京	117	*45		○
	法 菊名記念	神奈川	442	13	70	○
	公 済生会横浜市東部	神奈川	333	77		○
	中部・東海	法 湘南鎌倉総合	神奈川	202	189	73
公 横浜市立市民		神奈川	135	*-	72	○
大 東海大		神奈川	129	21	77	○
大 横須賀共済		神奈川	128	99	76	○
大 昭和大藤が丘		神奈川	116	18		○
大 信州大		長野	146	44	74	○
法 松波総合		岐阜	122	24	76	○
法 名古屋共立		愛知	201	*-	75	○
大 名古屋大		愛知	123	20	74	○
公 春日井市民		愛知	118	*-	71	○
近畿	公 近江八幡市立総合医療C	滋賀	127	13	75	○
	法 京都桂	京都	156	*-	75	○
	公 京都第一赤十字	京都	128	63	73	○
	公 京都第二赤十字	京都	123	49	74	○
	法 岸和田徳洲会	大阪	309	65	75	○
	公 国立循環器病研究C	大阪	225	74	75	○
	法 八尾徳洲会総合	大阪	215	*34	71	○
	公 大阪府済生会野江	大阪	145	*-	75	○
	公 大阪労災	大阪	139	114	72	○
	法 大阪警察	大阪	120	*23	75	○
	公 大阪府立急性期・総合医療C	大阪	*115	52	76	○
	公 関西労災	兵庫	561	181		○
	法 明石医療C	兵庫	141	17	72	○
	中国・四国	大 兵庫東立姫路循環器病C	兵庫	*134	32	77
大 兵庫東立医大		兵庫	*129	27	74	○
大 奈良東立医大		奈良	134	23	73	○
法 倉敷中央		岡山	168	50	80	○
法 心臓病C榊原		岡山	116	38	73	○
公 福山市立		広島	158	*-	76	○
公 広島市立広島市民		広島	137	52	77	○
法 土谷総合		広島	137	15		○
公 徳島赤十字		徳島	166	31	77	○
公 松山赤十字		愛媛	168	13	75	○
九州・沖縄	法 近森	高知	168	19		○
	法 小倉記念	福岡	621	131		○
	法 製鉄記念八幡	福岡	145	37	75	○
	法 新古賀	福岡	139	*11	75	○
	大 九州大	福岡	136	*20	77	○
	公 九州医療C	福岡	122	36	75	○
公 佐世保市立総合	長崎	124	18	72	○	
法 大分岡	大分	124	19	72	○	
法 宮崎市医師会	宮崎	188	30	70	○	

(注)「大」=大学系病院、「公」=国立病院機構や自治体、赤十字などの公営病院、「法」=医療法人やその他の病院。病院名の「C」は「センター」を意味する。○は「手術あり」が115例以上の病院を示す。*は「手術あり」が115例以上の病院を示す。○は「手術あり」が115例以上の病院を示す。○は「手術あり」が115例以上の病院を示す。